

事業所名 グループホーム ふきのとう作成日: 令和 4 年 3 月 3 日

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	34	・避難において介助なしでは移動が難しい利用者が多数いる。	避難誘導での対応の検討する。	職員会議において話し合い職員がモデルになって避難訓練をする。	6ヶ月
2	47	(Aユニット) 個別に応じた楽しみ事のサービスが少ない状況	個人の力、生活歴に視点を置いたサービスを提案・提供する。	・裁縫の仕事、趣味→雑巾縫い、衣類の補修→指先を使った作業等。 ・本人の現在の状況に応じて趣味、関心馴染みある活動を行って行く。	6ヶ月
3	47	(Bユニット) 今までは、介護度の高い方が多くリクレーションはあまりできなかった。	今後は、お茶前に体操を行う。	日常生活のできる範囲で身体を動かしてもらう。	1ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。